技術提案書（様式５）「県中農林事務所須賀川農業普及所整備」基本・実施設計業務 公募型プロポーザル

受付番号 2

# 農業と暮らしをつなぐ団地の庁舎

通りへ軒を深くかけ、お日様へ向かい頭を垂れ、土地に抗わぬ穏やかな佇まい。
成熟した団地に公園のような場を返す、自然環境と人に寄り添う農業普及所を提案します。

（1）周辺地域と共生する施設の在り方に関する提案

■500㎡以下の庁舎棟＋100㎡以下の車庫倉庫棟（法規和）

| 棟別 | 階 | 室名 | 室面積 | 階面積 | 延面積 |
|---|---|---|---|---|---|
| 庁舎棟 | 1階 | 執務室，給湯スペース | 131.7 | 467.2 | 496.5㎡ |
| | | 研修・会議室 | 133.3 | | |
| | | 土壌診断室 | 42.4 | | |
| | | 放射能検査試料調製室 | 19.7 | | |
| | | 放射能モニタリング室 | 11.4 | | |
| | | 経営相談室１ | 9.9 | | |
| | | 経営相談室２ | 9.9 | | |
| | | 書庫 | 19.5 | | |
| | | WC（多目的，男，女） | 29.8 | | |
| | | オープンスペース（広場） | 16.2 | | |
| | | 職員通路等 | 43.4 | | |
| | 2階 | 更衣室（男，女） | 20.4 | 29.3 | |
| | | 通路等 ※階段含む | 8.9 | | |
| 車庫倉庫棟 | 平屋 | 車庫（５台） | 72.6 | 94.9㎡ | |
| | | 倉庫，壁面収納棚 | 22.3 | | |

西側バックヤードから見た建物イメージ


南側壁面緑化のイメージ


体験菜園のイメージ

東側交流広場から見た建物イメージ


土間ロビー・執務室空間イメージ

（2）次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保に関する提案

## ■住宅団地に配慮した意匠性・平面計画・配置計画

成熟した団地の南端部、ステージのような敷地へ向かう求心的な通りとの接点に「まちの交差点」を見出しました。
団地に身を置く庁舎の在り方は、日常的には小さく開き多様な用途に対応できる柔軟性を持ち、農業者は元より街区公園を持たない近隣住民の拠り所となる親和的な存在が適します。利用者の動線を住宅と見合うことなく整理し、住民に愛され団地と共生する施設を形成します。

## ■明るく親しまれるオープンスペース

利用者が気軽に立ち寄る機会を段階的に招きます。
ちょっと顔を見る「風除室」、農家風情の立ち話「土間ロビー」、話が弾み「軒下サロン」、普及たより等の情報発信「閲覧スペース」などに加え、綺麗なトイレを借りる安心感と北採光で明るく温もりがある団地サイズの公共機能を提供します。管理側の有効性も段階的に対面するため、感染症などにも対応でき、必要以上の来客応対が少ない、機能的な地域開放の場が実現します。

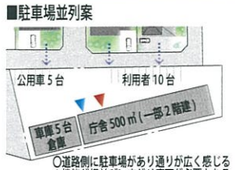
## ■イベント時に内部空間と外部空間が一体的となる機能

外周は人が寄り付ける広い軒下を持ち、歩車分離と半外空間を生みます。屋内空間は開口部の可変により東屋広場と交流広場を一体的に繋ぐ大きな屋根下空間へ変容し大人数のイベントも許容します。
イベント時の開き方・開放性は近隣住宅への配慮から見出した敷地の余白を活かします。
駐車場は道路から扇状にセットバックすることで住宅と距離を置く公園のような緑地を生み出しました。

■駐車場分割案

○広い駐車場を確保でき内外の一体利用が有効
×住宅地へ近接していて圧迫感有

■駐車場並列案




○道路側に駐車場があり通りが広く感じる
△機能が横並びに広がり廊下が必要となる
×駐車する際住宅地と視線が交錯する

## ■フレキシブルな空間の使い方

開放度 小 ↕ 大

1. 日常の開き方
気軽に立ち寄れる住民の休憩スポットや交流

2. 平日の小規模イベント時
庁舎で通常業務しながらイベントや講習会等の開催

3. 地域に開くイベント時
一体で使える屋根下空間

イベント時の駐車場は
都市公園を利用

## ■可変性を兼ね備えた空間・平面計画

日常使いのオープンスペースと大空間の研修・会議室に加え個室型相談室を含めた3つの機能は、建具や開口部の開放次第で様々な使い方・使われ方の展開が可能です。日常では執務室から使う相談室は採光間仕切りパネルの可変により大空間からも使用可能となり、個別ブースや講義などのステージ的な舞台として多目的に活用されます。

## ■敷地を活かした施設の機能配置

変形敷地と周辺環境に対し素直に機能を配置した結果、各諸室は有機的に繋がりました。職員駐車敷地から成る管理動線は明確なバックヤードエリアを作り車庫・倉庫棟は分棟化しながらも庁舎と一体的に利用できます。要である執務室を中心に利用者ゾーン・セキュリティゾーンを配置。検体搬入から一連の調査診断・資料整備・書庫はコンパクトな回遊動線とし本施設の主要機能を最大限に発揮します。
南西に面した諸室は既存樹木が日射遮蔽の役割を果たす範囲で採光を整えました。
自由な平面に対し屋根をシンプルに掛けます。
北は団地へ配慮し軒を下げ南は直射に対し折り太陽光設置の切妻とし、その形状により生まれた小屋裏空間に設備コアと更衣室を設けた平屋フォルムの一部2階建てとしました。

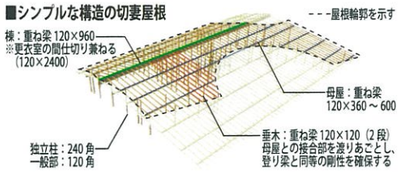
（3）その他本施設の計画において特に重要と考える提案

## ■感動を呼ぶ木造化をシンプルな構造と安定供給材で構築する

地場大工で施工可能な在来工法とし、メインフレームは大断面の母屋と大口径の柱によるシンプルな切妻形状です。大断面材は120角の小口径の重ね梁とし大口径の柱は伐採時期を逃した過成長の材を利用し製品化されたもので、いずれも県産材で安価・安定供給が見込めます。メインフレームをシンプルにする事で、有機的で自由度の高い間仕切りを実現します。

■地場産材の「重ね梁」の構成

■シンプルな構造の切妻屋根




## ■コストシュミレーション

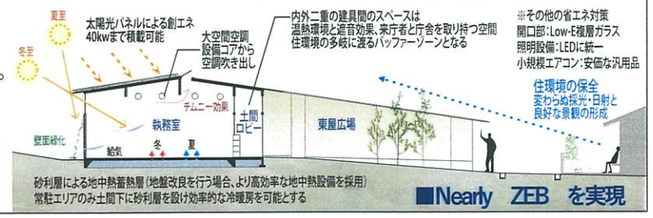
500㎡以下＋100㎡以下に分棟しコスト軽減を細部まで行います。書庫廊下など通路も室化し、シンプルな構造と屋根、建材高騰の影響の少ない汎用性ある部材選定、住宅用サッシの採用など早い段階からのコスト管理で実現性を高めます。外構は最小限の緑化で魅力ある修景が可能です。

| 工事予算 ※概算イメージ | 3億4870万（税込） |
|---|---|
| 建築 | 1億8000万 |
| 電気（太陽光） | 4500万 |
| 機械 | 3000万 |
| 外構 | 1900万 |
| 諸経費等 | 4300万 |
| 合計 | 3億1700万（税抜） |

※地耐力が充分に確保できている想定

## ■維持管理等の観点

設備機器はメンテナンスが容易な計画とし、設備や内外装の維持管理台帳を整え管理整備が容易であるよう努める他、外部木材は軒下に採用するなど、管理側の要望を遵守し維持保全を考慮した設計とします。

## ■省エネルギー化、再生可能エネルギー活用による環境への配慮

人の出入りが多いオープンスペースをバッファーゾーンと見立て、施設利用の機能と温熱環境の領域をもたせるなど、建物でパッシブを整えると共に設備コアを設け柔軟性のある設計でNearlyZEB環境を整えます。